

# ぶちらいふ

らいふ通信

2008.春  
Vol.11

らいふホームページ <http://life.daikatsu-k.co.jp/>  
らいふ通信 <http://green.ap.teacup.com/lifekaigo/>



らいふ萩園  
らいふ松林  
らいふ神明

らいふ介護事業部  
小嶋部長



介護のもしもに伝えることができたり？  
そんな思いを形にしていきます。

介護事業は、利用する方を取り巻く環境で、大きく様変わりしてきました。らいふでも、皆様の暮らし方に少しでも役立てるようにと、事業所の拡大を図っています。今号では、らいふの新しい事業所について介護事業部の小嶋部長にお話を伺いました。

編集部：今春2ヶ所に新規事業を開設しましたが、小嶋部長は介護事業をどのような方向に持っていくと考えているのですか？

小嶋：最初にデイサービスを作ったときは、漠然と介護保険制度の中で在宅介護を考えていたように思います。それを更に目的意識的に考えさせたのは、らいふ松林のオープンでした。

編集部：らいふ松林はぶちらいふ2007秋号でも紹介しましたが、厚労省が宅老所をモデルにした作った新しい在宅介護サービスですね。

小嶋：はい。25名までの登録定員制で、宿泊・通い・訪問を組み合わせたサービスです。らいふ萩園は、通いだけで在宅生活の一部分を補うサービスですが、らいふ松

林は在宅生活をすっぱり受けいれると言つ、大変濃厚なサービスが求められました。私自身も昨年要介護5の母を見送りましたが、家族の立場としては常にぎりぎりのところで介護しています。入所もやむなしいと思いが、いざ入所の手続きをする段になるとずいぶん悩みました。その順番が来た頃に亡くなりましたが、今は自宅で見送ることができて本当によかったです。



ステイサービスのオープン記念にお鍋を囲んでお祝いしました。

## らいふ介護事業部沿革

平成16年萩園にらいふ萩園（単独型デイサービス）を開所したのを皮切りに、大勝建設介護事業部は茅ヶ崎市松林に小規模多機能型居宅介護（平成18年11月）を、藤沢市鵜沼神明に訪問介護事業所（平成19年2月）を立ち上げてきました。今春3月には、認知症デイサービスとステイサービス（自費の宿泊施設）を萩園に増設、4月には鵜沼神明に小規模多機能型居宅介護とグループホームを立ち上げました。

らいふ萩園の新館



光

## ケアマネQ&A



**Q** 要支援1の義父と同居しています。認定の有効期間がまだあるのですが、最近急に腰の調子が悪いらしく、痛むのか一人で立ったり座ったりできなくなり、頻繁に呼ばれます。私も出産したばかりで赤ん坊の世話に手がかり困っています。こんな時どうすればいいのでしょうか？

**A** 介護保険の有効期間であっても変更申請することが出来ます。申請に行くことが難しい場合、本人・家族に代わって居宅介護支援事業者、地域包括支援センターで代行申請を行って頂けます。まずは担当ケアマネジャーに相談してみてください。申請中であっても具体的な解決策を提案してもらえますよ。

## らいふ萩園 第1回介護セミナー



『認知症のアドリブケア』  
～遊び心の発想転換～

講師：中田光彦氏

認知症デイサービスの2階に、サークル活動や研修会など幅広く地域の皆様に利用していただける多目的ホールが作られました。そして、その記念すべき第1回目のイベントが、3月24日月曜日に開催されました。講師に認知症実践者研修の中田光彦氏を招き、登録ヘルパーとしての実践や特別養護老人ホームの生活相談員だった頃の実践を通して『認知症のアドリブケア』について、閉塞



40名近くの参加者が集まった多目的ホール

しがちな介護の状況を遊び心や発想転換で楽しむといった内容で、参加したご家族や介護従事者も元気をいただきました。今後多目的ホールを利用して様々な催しを計画していく予定です。

## 編集後記

■3月は認知症デイサービスとステイサービスの立ち上げ、介護セミナー開催で大忙しでした。珍しく風邪を引いてしまいましたが、何とかぶち春2008も発行できました。

そんな中、大きくて頭の良いボルゾイ犬がボランティアに来てくれ、しばし癒されました。飼い主の渡邊さん、ありがとうございました。それから、皆さんで楽しめるお庭を作ってくださったイーハトーブの皆さん、ご苦労様でした。お散歩する方も増え大喜びしています。

この場を借りて、『ありがとうございました!』(三)



らいふホームページ <http://life.daikatsu-k.co.jp/>  
らいふ通信 <http://green.ap.teacup.com/lifekaigo/>

らいふ通信「ぶちらいふ」春号Vol.11  
2008年4月15日（季刊発行）

編集／ぶちらいふ編集部  
神奈川県茅ヶ崎市萩園 2822-1  
〒253-0071 TEL0467-89-5277  
発行／大勝建設株式会社介護事業部  
神奈川県茅ヶ崎市海岸1-1-58  
〒253-0055 TEL0467-86-2600

住み慣れた街で暮らし続けたい、  
そんな希望に添える家。

編集部：介護が必要なお年寄りのいるご家族は、誰しも家族の代わりになってみてもらえるところがあったらと感じていますよ。入所施設に申し込んでみてもすぐ入れるわけでもありません。

小嶋：そうですね。介護が重度化して頑張りきれないご家族を支える臨機応変な在宅サービスが、今最も必要になっています。

だから、萩園では通いなれたデイサービスで宿泊できる、特に認知症のお年寄りの急な宿泊に対応できるステイサービス（自主事業）を作りしました。

2階多目的ホール



らいふ神明は小規模多機能型居宅介護とグループホームを組み合わせたことで、家族が安心して介護できる環境を提供していきます。そういう安心感があれば、ご家族も在宅介護をもう少し頑張ることができると考えています。

編集部：それから、萩園には多目的ホールを作ったそうですね。

小嶋：地域の交流の場として利用したり、自分たちの勉強会などに使っていく予定です。



光

現在は、茅ヶ崎市の委託事業として介護予防を目的とした『貯筋運動教室』をここで開催しています。

いつまでも元気で暮らしたい。でも、歳をとって介護が必要になった時には、本当に自分たちが使いたいサービスを、私たちはこれからも目指していきます。



お庭の花を生けている花器はデイサービスの桑原さんの作品



お庭のベンチでひとやすみ。色とりどりの草花が楽しいです



床暖房の効いた和風の浴室

→デイサービスの皆さんが刺繍したり描いてくださった暖簾



↑日当たりの良い居室

→畳のお部屋もあります



お庭を眺めながらテイルームでお食事



らいふ松林近くの長福寺でお花見。河津桜が満開で、ひと足早い春の訪れを皆で満喫しました。

らいふ  
歳時記  
event

春爛漫  
らいふ松林です～～！



スタッフが折り紙で作った手作り雑です。実は台はティッシュペーパーの箱なので、軽くて持ちやすいと好評でした。



茅ヶ崎の道② 【鉄砲道】



洒落た店が並ぶ鉄砲道

国道一号線と海岸を走る134号線の中間を平行して東西に走るのが鉄砲通りです。この道の旧道は、エボシ岩の頂で述べたように、江戸時代にさかのぼります。1728年、江戸幕府は藤沢の片瀬から茅ヶ崎の柳島にかけての海岸地帯に大砲の操作や射撃訓練の場である鉄砲場をつくりました。その鉄砲場で演習が行われるときに、大砲を運んだり、鉄砲隊の兵士たちが通った道を、地元の人たちがいつのまにか、鉄砲道と呼ぶようになりました。

一中通りの先の旧道との合流点に「佐々木卯助の碑」が建っています。彼は鉄砲場を管理する役人でしたが、農民たちが鉄砲場内に入って耕作していたのを黙認したことで、八丈島に島流しの刑になりました。後年、彼についての評価は色々ありましたが、明治時代に顕彰碑が南湖の六道の辻に建てられてから、何度か場所を替えて、昭和56年に現在地に落ち着きました。この道は常磐町から柳島までの約6キロです。起点と終点が市内にある道路では一番長いものです。平和学園を横断する箇所や南湖から浜見平に抜ける箇所などの用地買収や難工事が続き、建設には長い年月がかりましたが、ようやく平成12年にほぼ現在のルートで全線開通しました。



最後の開通となった南湖東交差点付近。

住み慣れた街にふたつの暮らし  
らいふ神明 2008年4月1日オープン

24時間365日  
自宅での暮らしを支える小規模多機能  
居宅介護

オープンに先立ち3月28日・29日、内覧会を開催。たくさんの地域の皆様が見学にいらっしゃいました。

- 小規模多機能型居宅介護は『通い』を中心に『訪問』『泊まり』を組み合わせた柔軟なサービスで、いつも暮らしを切れ目なく支えます。
- グループホームは認知症の方で連続的な見守りが必要になったとき、新しい我が家として安心とやすらぎのある暮らしを守ります。
- らいふ神明の二つのサービスは、なじみのスタッフが一貫して対応しますので、お客様やご家族のご要望に応じてよりきめ細かくケアをコーディネート出来ます。

安心して暮らせる  
新しい我が家  
グループホーム

二日間の内覧会はご近所さんや居宅介護支援事業所の方が沢山みえました

お問い合わせ先  
らいふ神明 担当 柴崎まで  
藤沢市鵜沼神明2-12-17  
電話 0466-21-7893  
Fax 0466-55-1533